

【美浦中学校だより】		みほす 	<第11号> 令和7年2月27日 美浦村立美浦中学校 文責：土居
<h1>屋敷平通信</h1>			
校訓	自治 友愛 勤労		

「第2回 学校の教育活動に関するアンケート」の結果を報告します。

2月14日（金）の第2回評議員会において、アンケート結果を本校学校評議員に報告、一緒に分析し、ご意見を頂きました。その内容を一部ではありますが、保護者・地域の皆様へ学校だよりを通して報告させていただきます。アンケート結果および学校評議員会の皆様のご意見を踏まえ、今後の本校の教育活動の一層の充実に、教職員皆でさらに努力してまいります。今後も本校への教育活動へのご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。

【報告内容】

〈 1. 「学力向上の推進」について 〉

○本校が、グランドデザインの重点目標として年間を通して取り組んできたことは、昨年度に引き続き「対話を中心とした授業づくり」です。「ペア・グループでの対話を大切にしたい授業は楽しい」と答えた生徒は、90%（A当てはまる+Bどちらかといえば当てはまる、以下同様）でした。学校評議員の方々も、実際に年3回の授業参観を通して、「授業づくり、授業の様子がずいぶん変わっていて良い。」「昨年度に比べ、生徒たちの対話の様子が活発で良い。」と評価していただきました。

○また、「1月実施の県学力診断のためのテストにおいて、何故2年の数学が大変良い結果であるのか」という質問がありました。これに対して「2年の数学では、1年の頃から対話を大事に授業を進めていた。生徒同士の対話により思考を深める学習を続けてきた成果ではないか。」と答えました。「先生方は、生徒の学力が身に付くような工夫をしている。」と答えた生徒は93%でした。

○一方で、「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい。」と91%以上の生徒が肯定的であることを受け、「これからも、ICTとのバランスを大事にして授業を行ってほしい」とのご意見をいただきました。これからも、授業づくりへの工夫や努力を続けていきます。

〈 2. 「生徒指導の充実」について 〉

○生徒総会をはじめ、学校生活や校則改善に向けた話し合いを実践しました。また、学校・学校行事などで、実行委員会を中心とした生徒主体の企画・運営を行うことにより、自治力や主体性の向上を目指しました。「生徒会活動に積極的に取り組んでいる」と答えた生徒は83%であり、「結果が低下していることが気になる。次年度、しっかり取り組んでほしい。」と、ご意見いただきました。さらに、令和4年度の生徒総会での話し合いで出た制服変更案をもとに、本年度制服変更に着手できたことについて、「制服検討委員会を中心に制服改定を進めることができよかったです。」という言葉いただきました。

○一人一人に寄り添う対応の充実に組織的に取り組む（週1回の教育相談部会・生徒指導部会、教育センター相談員やSCとの連携等）ことで、積極的な生徒理解に努めました。「学校は、楽しい」と答えた生徒は88%であり、「学校全体の努力の成果として不登校生徒が大きく減少したことは評価したい。これからも、対話を大事にした授業づくりと同時に、一人一人を大切にしたい対応を続けてほしい。」と評価していただきました。

〈 3. 「豊かな人間性」について 〉

○「当たり前前をばかにしないでちゃんとできる」「完車・完足・完出・完着・完敷」を生徒一人一人が意識して生活する雰囲気をつくり継続してきたことで、落ち着いた学校生活と基本的な学習習慣の定着につながったと捉えています。「決まりやルールを守って生活している」と答えた生徒は93%であり、「今日も、実は靴箱を見てきたのだが、靴がそろっており、5完に取り組んでいる姿を確認することができた。また、授業参観を通して、なごやかな雰囲気が感じられ安心できる。」と評価していただきました。

○「自分の将来の進路について考えている」と答えた生徒は 67%でした。「3年生の3年間を振り返っている学習活動の中で、3年生の成長が見られてよかった。今後も自己の生き方を考える学びを充実させてほしい」とお話をいただきました。本年度、総合的な学習の時間（職場体験、平和学習等についての理解と課題解決学習等）を通して、自己の生き方を考える学びを展開し、一人一人の主体的な進路選択につなげることを目指しました。今後、さらに学習活動を計画的・継続的に充実させていきたいです。

○「美浦村が好きだ」と答えた生徒は 71%でした。年間を通して、地域のボランティア活動や交流に多くの生徒が積極的に参加することができました。「1年生の授業では、地域に関する学習の成果が発表されていた。統合小学校開校にあたり、あいさつ運動をはじめ、共に活動を充実させてほしい。」とお話をいただきました。

〈 記述のご意見について 〉

「昨年度に比べ、給食の献立の内容が変わった、物足りない、ヘルシー志向になった。」等のご意見をいただきました。

《現状について》

① 様々な食品の値上がり

1年間、限られた予算の中で、工夫を行ってきたところです。

② 「学校給食」としての献立の在り方について

文部科学省「学校給食摂取基準」が設定されており、これを参考に献立を作成しています。本校の肥満傾向児割合は、全国平均より約4%多いため、過度なエネルギーの過剰摂取は避けたいと考えます。前年度までの献立を見直し、脂質の摂取量が多いことから、揚げ調理の回数を減らしているのが現状です。また、食塩相当量も健康面を配慮して減らしています。参考に、下の表を比較してもわかるように、エネルギー量は、基準を満たしている状況です。

(参考) カッコ内は学校給食摂取基準に対しての充足率

※献立作成アプリで計算した数字です。

2023年7月平均	2024年7月平均
エネルギー：782Kcal (94%)	エネルギー：793Kcal (96%)
脂質：25.28 g (110%)	脂質：22.98 g (100%)
食塩相当量：4.3 g (172%)	食塩相当量：3.2 g (129%)

《今後の改善について》

- ① 次年度は、米の量を10g増やす。(エネルギーに換算すると約40Kcal増となる)
- ② 食材を価格の面から、国産ではなく、外国産を優先的に使用することも検討しています。ただし、安全性を確認しながら行っていきたいと考えます。
- ③ 調理の工夫をさらに行っていきます。(よく噛んで満腹感を感じることができるような切り方や、かさが増える乾物の多用等)
- ④ 揚げ調理の回数を増やす。栄養バランスや油の価格を考慮しながら改善します。
- ⑤ 近隣市町村の栄養教諭との情報交換を引き続き行い、よりよい献立につなげていきたいです。

現在、本年度の教育活動を見直し、次年度に向けて、改善を行っているところです。頂いたアンケート結果を大事に、次年度のよりよい教育活動へとつなげていけるよう、全教職員で引き続き努力をしております。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

【令和6年度 学校評価アンケート 1回目（6月実施）と1回目（12月）の比較】
○生徒アンケート（調査項目と結果） 回答94.2%（258人/274人）

調査項目	A(当てはまる) B(どちらかといえば当てはまる) C(どちらかといえば当てはまらない) D(当てはまらない)				比較	調査項目	A(当てはまる) B(どちらかといえば当てはまる) C(どちらかといえば当てはまらない) D(当てはまらない)				比較
	1回目	2回目		比較			1回目	2回目		比較	
	A+B	A+B	C+D				A+B差	A+B	A+B		
1 学校は、楽しい。	88	88	12	0	➡	10 自分自身、中学生として成長したと感じる。	84	85	15	1	➡
ペア・グループでの対話を大切に授業は、楽しい。	90	90	10	0	➡	11 美浦村が好きだ。	69	71	29	2	➡
先生方は、生徒の学力が身に付くような工夫をしている。	95	93	7	△ 1	➡	12 学校には、いじめが起きない、起こさない雰囲気がある。	83	79	21	△ 4	➡
電子黒板やタブレットを使った授業は分かりやすい。	94	91	9	△ 3	➡	13 美浦村の近辺の高校や専門学校など、進路先の情報を知っている。	58	61	39	2	➡
5 もっと学習がしたい。	62	59	41	△ 3	➡	14 自分の将来について考えている。	69	67	33	△ 3	➡
6 本を読むのが好きだ。	57	50	50	△ 7	➡	15 生徒会活動（委員会活動、五完運動、校則検討など話し合い活動、熱中対策など）に積極的に取り組んでいる。	90	83	17	△ 6	➡
7 いろいろな人と関わるのが好きだ。	87	86	14	△ 1	➡	16 安全に気を付けて登下校している。	98	99	1	1	➡
8 学校生活の決まりや社会のルールを守って生活している。	98	93	7	△ 4	➡	17 学年や学校の行事を楽しみにしている。	90	88	12	△ 2	➡
9 悩みや不安を相談することができる。	74	72	28	△ 2	➡						

○保護者アンケート（調査項目と結果） 回答88.0%（241人/274人）

調査項目	A(当てはまる) B(どちらかといえば当てはまる) C(どちらかといえば当てはまらない) D(当てはまらない) E(分からない)					調査項目	A(当てはまる) B(どちらかといえば当てはまる) C(どちらかといえば当てはまらない) D(当てはまらない) E(分からない)						
	1回目	2回目		比較	1回目		2回目		比較				
	A+B	A+B	C+D		E		A+B差	A+B		A+B	C+D	E	A+B差
1 子どもは、学校は楽しいと言っている。	82	77	18	5	△ 5	➡	10 子どもは、中学生として成長したと感じる。	85	86	9	5	1	➡
2 子どもは、ペア・グループでの対話を中心とした授業が楽しいと言っている。	65	60	23	17	△ 5	➡	11 子どもは、美浦村が好きだ。	62	62	25	13	0	➡
3 子どもは、授業がよく分かっている。	59	57	37	6	△ 2	➡	12 学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	64	66	16	18	2	➡
4 子どもにとって、電子黒板やタブレットを使った授業は分かりやすい。	75	76	9	15	1	➡	13 学校は、進路についての情報を十分に提供している。	61	62	21	17	1	➡
5 子どもは、もっと学習がしたいと思っている。	42	37	52	11	△ 5	➡	14 授業参観や三者面談等で、学校と情報交換、情報共有ができる。	77	82	12	6	5	➡
6 子どもは、本を読むのが好きだ。	49	39	57	4	△ 10	➡	15 生徒会を中心とした自治的な取り組みが行われている。	71	61	7	32	△ 10	➡
7 子どもは、人と関わるのが好きだ。	77	76	20	4	△ 2	➡	16 交通安全指導や避難訓練などを通して生徒の安全性を高めている。	88	85	5	10	△ 3	➡
8 子どもは、学校生活の決まりや社会のルールを守って生活している。	91	90	6	4	△ 1	➡	17 学校は、働き方改革を進め、生徒と向き合う時間の確保に努めている。	59	62	12	26	3	➡
9 子どもは、悩みや不安を相談できる。	75	81	12	7	6	➡							